

TTAレポート(No. 124)

(No.14)

① 第1回委員長会議と第1回理事会開催

・第1回委員長会議を2020年9月27日、第1回理事会を10月10日に宇都宮南生涯センターで開催した。2020年度中間決算及び決算見通し報告がメインの議題であるが、新型コロナウイルス感染症のためたくさんの大会が中止になっていましたが、一般はダンロップ大会から再開できている。鹿児島国体も年内には開催せず、延期となる。開催は2023年を予定している。四日市市で開催するリハサル大会も延期され、12月10日から開催予定だが**12月3日新型コロナ感染症拡大防止の観点から中止が決定された**。ジュニア、実業団の関東大会、全国大会。インターハイも中止となり、中間決算について、収入がないが支出もないはずなので、何とかプラスに持っていける最終決算にしたいと思うが、現在の決算見通しは、予算では残金¥68,991にたいしてマイナス¥15,715が中間決算での見通しです。これからの経費削減の努力により決算時にはプラス決算で終了できるようお願いしたい。

・国体の準備金で各地区協会に来年度から各地区協会からのTTA登録人数×¥300を国体の分担金として2021年度と2022年度2年間限定で協力をお願いした。これで年約86万円になります。

・またTTAの財政立て直しと国体をひかえてこちらは恒久対応ですがTTAの公認大会宇都宮選手権シングルスとダブルス、小山オープンダブルス、小山秋季シングルス、両毛大会シングルスとダブルス、ベテラン両毛大会シングルスとダブルスで参加人数により公認料を徴収する。約30万円の増収を予定している。TTA細則に追加。

以上2件を次回理事会での承認を得たいと思います。

に

② 国体に向けて

・第1回国体準備室の会議を2020年9月27日第1回委員長会議の後に開催し第2回も11月22日に開催した。

第1回理事会でも発表したが国体リハ大会の各委員長副委員長が決定し発表各委員会の委員もリハ大会は決定しSCUも48名はそろった本大会の役員とSCUの決定が残っているがこれから集める予定です。

リハ大会各委員会の役割分担の決定を行った。

プログラム広告協賛メーカーを募集2021年1月からはじめるにあたって候補メーカー(案)をだす。

OS-LIVEを導入するのでその運営シュミレーションで2021年6月の全日本県予選会を予定する。

リハサル大会の四日市市で開催予定の第44回全日本都市対抗テニス大会が中止となり視察を予定したが、視察に行けず、来年の宇都宮市で開催の都市対抗の準備に支障が生じないように検討していく次第です。

----- 次回の予定は3月8日 -----

—以上—